

理工系人材育成の取組について（科学センター）

科学センターでは以下のように、理工系人材育成の取組を実施。

○科学センター理科学習 市内在住の小中学生向け（年間約 100 日）

開館以来、「科学センター理科学習」と題し、市内 29 校（小学校 21 校、中学校 8 校）の児童・生徒をバスで科学センターまで送迎し、充実した視聴覚機器や実験・観察器具がそろった科学センターで効果的な学習を実施。夏休みなどの学校長期休業期間を除く、年間の平日 200 日のうち、約 100 日は科学センターで授業を行っている。

○おもしろ科学実験 小中学生とその保護者向け（年間約 100 日実施）

一般市民を対象に、科学の原理原則を指導員がわかりやすく演示実験を行う。

○わくわく科学工作

幼児～小学校低学年を中心に、簡単な科学工作教室を実施。（年間約 15 日実施）

○デジタルプラネタリウム（年間約 100 日実施）

広く一般市民を対象として、土曜日、日曜日、祝日、学校長期休業中の昼間にプラネタリウムを使って、その時期に見える星について解説。

○夜間天体観望会（年間約 30 日実施）

毎週土曜日の夜間、一般の方を中心に、科学センターにある四国一の大型望遠鏡を使って、実際の星を観察してもらう。

○阿南市少年少女発明クラブ（年間 10～12 回活動）

市内に通学する小中学生 40 名を対象に、電気工作など高度な工作を中心に活動するクラブ。夏休み中には、地元企業の工場見学も行い、よりハイレベルな理工系人材育成を行っている。

○科学講演会の実施（年間数回実施）

宇宙や自然に関する有識者を科学センターに招き、講演会を実施。令和 7 年もすでに終了した講演会を含め、3 回の講演会を予定している。